



2020~21年度 D-2700 No. 23 2021年2月5日

小倉ロータリークラブ 週報

R I テーマ：“ロータリーは機会の扉を開く”

R I 会長：ホルガー・クナーク 氏
(所属：ドイツ、ヘルツォークトゥム・ラウエンブルク・メルン RC)

地区テーマ：“日本のロータリー100周年

「新しいロータリーは機会の扉を開く」

地区ガバナー：古賀 英次氏(所属：柳川 RC)

クラブテーマ：“OPEN THE DOOR TO CHANCE”

会長 松永 浩 / 幹事 豊川 智彰



表紙写真(テーマ/はじめての ZOOM 例会)

新聞の文化面で俵万智さんの新刊「未来のサイズ」の紹介記事を読みました。その中に、小倉 RC にぴったりの短歌をみつけましたのでご紹介します。 トランプの 絵札のように 集まって 我ら画面に 密を楽しむ。

【撮影：甲木 正子 会員／令和3年1月22日／オンラインにて】

例会場 リーガロイヤルホテル小倉 TEL 093(531)1121

《報告に関して、敬称略》

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 e-MAIL : kokura@2700rid.com

事務局 北九州市小倉北区浅野2-14-2 リーガロイヤルホテル小倉 2F TEL(531)1727 FAX(522)4333

クラブ会報委員会 委員長：宮島 俊司 副委員長：城 健一郎

委員：篠原 烈、橋爪 政博、中村 学、大川 雅弘、甲木 正子

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



本日の例会 第3464回 オンライン例会

・会員卓話

(株)電通九州 北九州支社長
久保田 彰 氏

会長の時間

松永 浩 会長

本日はコロナ感染拡大防止の為、初めてのオンライン例会を行わせていただいています。ご参加ありがとうございます。私の業界では現在、取り扱い保険会社3社でコロナ感染者が出ています。私の会社に来社していた営業担当者も感染してしまいました。今や、誰でも新型コロナに感染してもおかしくない実態にあります。

私も、会員の皆さんも、感染しているかもしれません。感染することは止むを得ない・・・とすれば、感染可能性があることを前提として、今何ができるか。対応すべきことは何なのか。大切なのは連鎖の断絶そして防止です。今回、私が得た情報を、会員の皆さんをはじめ、皆さんの大切なお客様をお守りする一助には是非していただきたいと強く願います。先ず、その時は突然やってくるようです。一報を受けて、まず行うことは感染拡大の防止・沈静化です。感染社員の体調確認・発症日・感染源・濃厚接触可能者の推定と今後の流れの擦り合わせを保健所と一緒に行います。「濃厚接触者」の定義は「発症の2日前から1メートル以内でマスクを着けず15分以上接触した人」です。感染者は自宅・宿泊施設療養で健康観察期間が発症日から10日間あります。その後は症状軽快していれば就業制限解除が通常のようです。濃厚接触者は自宅待機です。感染者との最終接触日以

第3463回 例会 記録

1月22日(金) オンライン例会

・職業奉仕関係の卓話
第2700地区職業奉仕副委員長
神尾 康生 氏

ご案内

伊井 SAA

新型コロナ感染の拡大により1月14日に緊急事態宣言が発令されたのをうけ、ZOOMによるリモート例会としました。なお、ロータリーソングなどの歌唱は無しとしていますので、ご了承ください。また、昼食をとりながら参加していただいても結構ですが、ご自身の発言等がないときは常にミュートにしておいてください。

降2週間目安となっています。仮にPCR陰性であっても、その後陽性となる可能性があります。濃厚接触者へのPCR検査は無料です。濃厚接触者以外の方は健康観察を行います。日常生活の制限はありません。最終接触日～2週間、朝晩の体温測定と毎日の体調把握を行います。濃厚接触者以外の方のPCR検査は1人25,000円程度有料です。会社は感染拡大防止の為、保健所からの連絡指示により濃厚接触者を自宅待機させ、社内行動経路・接点ポイント等への消毒を行います。費用は約500円／m²。感染者最終出社日から3日以上経過すればウイルス残存リスクは殆どないようです。また、社員の動搖抑制も必要です。現在知りうる情報の周知と不安の除去、安全サイドに立った判断とスピードの姿勢が必要です。社外への対応も必要です。発表文の作成、発生の周知・今後のお客様へ納得いただける訪問自粛期間の設定、業務手段制限下でのテレワーク・リモート営業の代替方法を行います。以上が社員に陽性者が出了場合の一連の流れです。感染予防としては早期把握の為、ご家族・友人含め接触のあった人が濃厚接触者・感染者となつた。本人が僅かでも体調不調があるといった際の会社とのタイムリーな情報共有と濃厚接触者の極小化に向けた対応、テレワーク・リモート営業の環境面・実効面の準備が必要です。今回のオンライン例会がリモートワーク経験の一役になれば幸いです。緊急事態宣言再発令により飲食業筆頭にすべての業種が大変な状態になっています。一日でも早く感染拡大が沈静化することをお祈り申し上げます。

幹事報告

豊川 幹事

・今後の例会開催についてご報告いたします。皆様ご存じのように1月14日より2月7日まで福岡県にも緊急事態宣言が発令されました。小倉RCにおきましても、先週は臨時休会とさせていただきました。併せて理事会にて緊急事態宣言期間中は、2週に一度程度をめどにZOOMによる例会を開催していくことといたしました。ご不便を感じられる方もいらっしゃると思いますが、事情お察しいただければと思います。よろしくお願ひいたします。

・今後直近のスケジュールですが、来週の例会は休会といたします。その翌週の2月5日の例会は、緊急事態宣言の期間ですので、本日同様にオンライン例会を開催いたします。それ以降のスケジュールに関しましては、国・県の動向や感染拡大の状況を考慮して理事会などで協議し決めていきたいと思います。決まり次第ご案内いたします。

ニコニコ献金

児島 副SAA

11,000円：累計金額 247,500円

濱田 源一郎 君

下半期最初の例会、新年初例会を祝うおめでたい席で年男のお祝いをいただきました。馬齢を重ねる事、7回目の年男になりました。ありがとうございました。

杣 巖 君

新年初例会、雪のため熊本から帰倉出来ず失礼しましたのでペコペコです。

八尋 重治 君

神尾副委員長、本日は卓話をありがとうございます。よろしくお願ひいたします。

嘉藤 晃玉 君

このたびは私の還暦に際し、皆様方から心温まるお言葉にあふれた色紙を頂戴しありがとうございます。1月8日、同日はロータリー出席の心づもりで会場に向かいましたが、雪で思うように車が進まず、午後の予定もあったことから、途中断念して引き返してしまい、このようなお祝いを頂戴するのであれば何としても出席すれば良かったと悔いております。なかなか還暦を実感することもありませんでしたが、コロナ禍で仕事以外の様々なことにも考え方を巡らす時間もありますので、これを機に、これまで振り返るとともに新たなスタートとしたいと思います。本来であれば、会場で御礼を申し上げるべきところですが、実開催が見通せないようですので、画面越しではありますが、御礼の言葉とさせていただきます。

出席報告

大曾根 委員長

2020年7月1日：59名でスタート

	会員数	出席者数	マークアップ [°]
当日の出席	67名	39名	—
先週の出席	67名	33名	24名

◆ゲスト 1名 (卓話者)

◆ビジター 1名 (サインのみ)

1月

お誕生日・結婚記念日

おめでとうございます

親睦活動委員会 高山 委員長

Birthday

天ヶ瀬洋正
上野 禮一
井出 智幸
三角 勝信

竹中 休義
安田堅太郎
村上 充生

結婚記念日の方はいらっしゃいません。

委員会報告

職業奉仕委員会

八尋 委員長

先日の例会が休会となつたため、予定していました優良従業員表彰ができませんでした。佐久間会員と上野会員より、優良従業員をご推薦いただきおりました。表彰予定でしたサンレーの石田恭一様と平和電業の吉原勝様への賞状と記念品は、私より佐久間会員と上野会員のところへご訪問させていただき、お渡しいたしましたのでご報告いたします。

職業奉仕関係の卓話

第 2700 地区職業奉仕副委員長

神尾 康生 氏

『職業奉仕とは』



地区の職業奉仕委員会の主な活動内容は、職業奉仕に関する勉強会、地区研修協議会での研修会開催、研修セミナー、卓話用DVDの作成、各クラブでの卓話があります。職業奉仕委員会が職業奉仕とはこういうものだと解釈し

たり、定義づけをするためにセミナーを行ったり、卓話をを行う事ことはありません。

今年度は、各クラブにおいても地区職業奉仕委員会の活動においてもコロナ禍により例年と同じような活動は難しい状況になっております。そして本年度地区職業奉仕委員会としては、奉仕プロジェクト部門として新たな活動を行っていく予定でした。しかしコロナウイルスが収束しない中大勢のメンバーを集めてセミナーを開催する事が困難になりました。地区社会奉仕委員会と合同で環境問題をテーマに職業奉仕そして社会奉仕について学ぼうではないかと議論を交わしていく中、昨年 10 月 24 日（土）に、「宗像国際環境会議」の分科会としてセミナーを開催する運びとなりました。SDGs を各々が取り組むことにより実現できるのではないか、職業を通じて可能な事は何かを考え、2名のパネリストを招いて職業奉仕に役立つ事例「柳川の治水事業」と「SDGs とロータリー活動」を発表して頂きました。

コロナ禍で予定していました活動は出来ませんが、今後も第 2700 地区の皆様の役に立つ情報を出来る限り発信してまいります。今後も地区職業奉仕委員会をどうぞ宜しくお願ひ致します。

ロータリーにおける職業奉仕

「ロータリーの目的」

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること (RI 定款第4条、標準ロータリークラブ定款第5条)

「四つのテスト (The Four-Way Test)」の始まり

～ 1932 年、倒産寸前のクラブ・アルミニウム社の再建のために、ハーバード・テーラー (1954 年 RI 会長) が考案したスローガン (経営上の指針) ～

1. 真実かどうか

(Is it the TRUTH? 真実か?)

2. みんなに公平か

(Is it FAIR to all concerned? 関係者すべてにとって公正か?)

3. 好意と友情を深めるか

(Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS? 信用を高め、より良い友人関係を築けるか?)

4. みんなのためになるかどうか

(Will it be BENEFICIAL to all concerned? 関係者全てに有益か?)

優良従業員表彰

1月 15 日の臨時休会により表彰ができませんでしたので、各会社で表彰していただき、コメントと写真を頂戴しました。

優良従業員表彰者（2名）

・(株)サンレー 執行役員 企画開発部部長

石田 恭一 氏

推薦者：佐久間 庸和 会員

・平和電業(株)

吉原 勝 氏

推薦者：上野 禮一 会員

株サンレー 執行役員 企画開発部部長

石田 恭一 氏



このたびは、過分な表彰をいただきまして誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。私は、地元出身で株式会社サンレーに昭和61年入社しましたプロパーで、今年4月で入社35年となりました。社歴につきましては、大まかに35

年の内、約40%が葬祭部門、残り約60%が本社の企画部門で勤務しており、現在は約10年間、本社の企画部門である企画開発部に勤務しております。企画部門の業務は、その名の通り中心業務は新たな企画を立案しそれを実行していくことが役割となります。このほか当社においては様々な計画においてトップと現場を実務的につなぐ組織のハブ的役割もかなり重要な業務です。具体的な業務としては、新事業等の企画のほか、施設の出店やイベント、広告宣伝などで、施設の出店につきましては、私自身これまで約25件の新たな施設の出店に、用地の取得から建築に携わらせていただきました。

イベントについても重要な役割ですが、昨年よりコロナ禍で思うように実施することができず、現在非常に厳しい状況下にあります。また、広告宣伝につきましては、TVやwebなど主となる媒体について直接担当し、加えて、広告宣伝部分のコンプライアンスも担当しており、全ての広告宣伝物の景品表示法や個人情報保護法などの審査部門の役割も担います。

このほかCSR的分についても担当しております。当社では、CSRいわゆる企業の社会的責任を果たすことは、当社のような地域密着で一般消費者を対象としたサービス業が企業として存続していくためには必須として取り組んでおりますが、実際は本当に難しく、まだまだ成果として言えないレベルですが、本日は、いくつか触れさせていただきます。

まず、ひとつ目は「隣人祭り」です。この「隣人祭り」というのは、1999年フランス、パリの小さなアパートでおきた高齢者の孤独死をきっかけに住民たちが集まり、交流のための食事会を行ったことから始ったと言われる地域交流の試みで、その後世界中に広がっています。当社では約10数年前にこの活動に賛同し、この「隣人祭り」の実施に努めています。当時当社では、冠婚葬祭の仕事の中で、孤独死の増加や血縁や地縁の希薄化が進むのを感じはじめていた時期で、このことは今後の事業に大きく影響していくとのではとの考えもありこの「隣人祭り」への取り組みを始めました。

現状の活動としましては、例えば毎月第二木曜日に、自社の研修施設を利用して近隣の方々を招いて行っている笑いと健康をテーマにした集い「ともいき俱楽部」、また、市内の市民センターなどにイベントを持ち込み周辺の住民を集めていただくという提案型のイベント、名前を「お隣さんいらっしゃい」と名付けて行っています。このほか色々な形で地域交流の一助となることを目指し活動を継続して行っており、まだまだ大きな成果とはいきませんが、少しずつ成果らしきものも見えており今後も地道に続けていきたいと考えています。

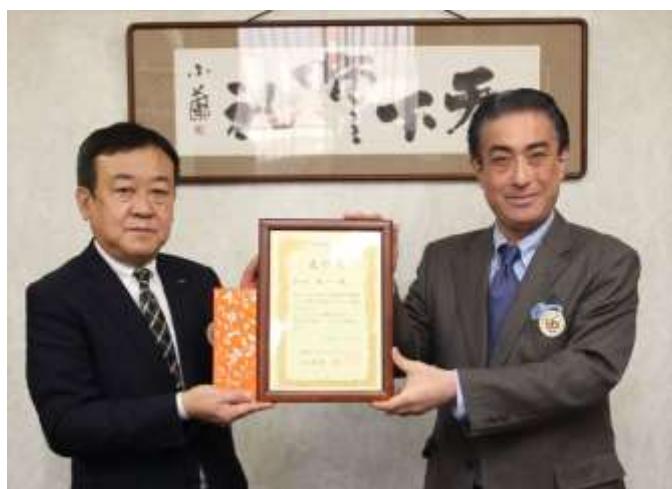
もう一つ、門司の和布刈山頂にあります「世界平和パゴダ」の支援活動についてご紹介させていただきます。

この世界平和パゴダにつきましては、1958年に当時のビルマ(現在はミャンマー)国と柳田桃太郎、当時の門司市長を中心とした門司の有志の皆様により、門司港から出航しなくなられた戦没者の慰靈と世界平和を願い国内唯一の本格的ミャンマー式寺院として建立されました。その後現在に至るまで、世界平和パゴダには常時ミャンマー人の僧侶が常駐し、運営は戦地から無事帰還された戦友会の方々が担い長年運営を続けていました。約60年が経過し戦友会の皆様の高齢化が進み運営が困難になったことから、2012年当社が運営をお手伝いすることになりました。

その後約8年間、世界平和パゴダ奉賛会という会を作り支援金を募ったり、また、僧侶たちの入国手続きから買い物や通院など日常の生活に至るまでのお手伝いを続けています。8年が経過しなんとか運営自体は安定化しておりますが、現在、建築から60年を超えたパゴダの老朽化という大きな難題を抱えています。

このほかCSR取り組みとしましては、外回りの職員も多いことから始めた認知症サポートへの登録、また、市の道路サポート、若年生活保護者の就労支援や北九州市との災害協定など少しずつではありますが色々な取り組みを行っている次第です。

最後になりますが、このコロナ禍において、ホテル事業をはじめ本当に厳しい状況ですが、受賞に恥じないよう、これからも頑張って参りたいと思います。



思いがけず伝統ある小倉RCより表彰して頂き有難うございます。私は、長年平和電業で送電線工事に従事してきました。この仕事は厳しい寒さの中や、酷暑の中でも行わなければならぬ仕事です。現場での作業において最も大切なことは、チームワークであろうと思います。また、近年は特に安全に対して気を付けて作業する様になりました。ネットワークの社会になり停電事故が許されない現在、安全第一でこれからも進めて行く所存です。この度は、誠に有難うございました。



▲建設した新鉄塔

地上約 35m



▲現場作業での宙乗り



▲送電線線下伐採作業

第7回定例理事会 報告

<審議事項>

1. 新会員の件（1名）… 承認

①吉野 浩実 氏

(㈱西日本シティ銀行 常務執行役員北九州総本部長)

職業区分：612 普通銀行

推薦者：梅田 秀彦 会員／大迫 益男 会員
委員会：親睦活動委員会

2. 福岡県コロナ緊急事態宣言に伴う休会、延期、例会 web配信の件

緊急事態宣言中の2月5日（金）の例会までは、集まっての例会はせず、休会もしくはZOOMを使ったオンライン例会を開催することとなった。

開催日は基本2週間に1回とし、卓話者等の都合に合わせて決めることとなった。

3. クラブ・フォーラム議題の件 … 承認

○テーマ 「会員拡大増強について」

○趣旨 地元会員の獲得について

4. 米山記念奨学生受け入れの件 … 承認

受け入れ期間 2021年4月～2022年3月

5. 次年度地区委員推薦の件

① 小島庸匡会員 地区米山記念奨学会委員（継続）
… 承認

6. インターアクト地区委員選出依頼の件

今回選出しないが、今後当クラブからも地区委員を出す方向で検討することとなった。

<報告事項>

1. 12月の会計報告



ロータリー財団に13年連続で最高評価

ロータリー財団はこの度、米国の慈善団体を評価する独立評価機関であるチャリティナビゲーターより、13年連続で最高の4つ星評価を受けました。今回の4つ星は、ロータリー財団が部門別のベストプラクティスを実践し、財務的に効率のよい方法でその使命を遂行したこと、また、財務健全性、説明責任、透明性へのコミットメントを示したことが評価されました。